

## 『地域活性化センター(仮称)の提案』

a2200409 神林由貴・a2200412 佐藤智美

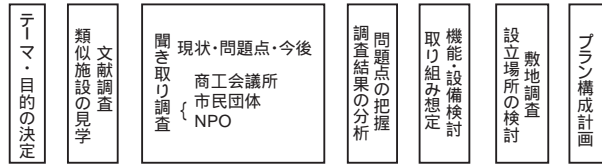
### 【背景・目的】

本学は平成18年度より公立大学から独立行政法人となる。これを機会に、大学の使命である人材育成のに加えて、地域産業の活性化や新たな起業、共同研究など地域貢献を積極的に進めようとしている。一方、産学協同など地域貢献・参画、知的・人的ネットワークの構築が大学には期待されるようになってきており、施設運用、地域を対象とした生涯学習や地元企業との共同・連携研究のための新たな施設が必要になってきている。この知的財産を有効に使い、今以上に地域と連携を計っていくべきだと思われる。

会津大学には産学連携を目的として既に産学イノベーションセンターをその拠点として設置しており、地域・企業へ開かれた産学連携の総合窓口として役割を担い、様々な事業を展開している。

これに対して短期大学部である本学の3学科は、幅広い学問分野を保有しており様々な地域課題を解決する可能性を秘めている。そこで大学と地域が連携する場と機能を作り出すことで、地域の活性化を図る必要があると考える。私たちは会津若松市の人々や観光で訪れた人々が気軽に立ち寄れて、そこで行われている活動や研究に直ぐに参加でき、また、あるときは様々なイベントや市が開かれていて、そこでの成果を共有し合える、地域に開かれたアクションステーションを地域活性化センターとして提案する。

### 【研究方法】



### 【調査結果・考察】

会津若松市で活動している市民団体、NPO、商工会に聞き取り調査をし、地域活性化のために何が必要かを検討した結果をまとめ、以下のような項目に整理しアイデアを抽出した。

#### 情報発信系

- \*市民団体の情報発信
  - ・地域の活性に取り組み活動の映像を流す
  - ・まちづくり、NPOなど市民団体の活動紹介
  - ・活動状況や成功・失敗談などの情報交換
  - ・他県や外国の地域での取り組み紹介
  - ・ボランティア・NPO団体の参加募集

- \*ワークショップ情報発信
  - ・ユニバーサルデザイン
  - ・交流人口を増やそう
  - ・空き店舗の利用方法
  - ・商店街の活性化
  - ・夜の観光地について

#### \*観光客への情報発信

- ・町中イベント情報
- ・会津の飲食店・各種店舗の口コミ情報
- ・会津の歴史、風土

#### \*会津大学短期大学部の情報発信

- ・公開講座
  - 伝説工芸職人による講演会、実演会
  - 家庭で役立つ経済学・株式講座
  - 教職員によるワークショップ
  - 高校生のための食事講座
  - インターネット、CG講座
  - 他大学講座を衛星中継
  - 小学生の料理教室

#### \*図書・メディア情報発信

- ・学習(個人、グループ)やメディア利用
- ・雑誌、新聞、歴史書、インキュベート関連書

#### インキュベート系

- ・ベンチャー企業、NPOへのオフィス貸し出し
- ・教員、市民、インキュベートへの研究室貸し出し
- ・テナントショップ
- ・会津の特産品を用いた新商品開発
  - 柿アイスクリーム
  - 柿せんべい
  - 民話お菓子
- ・会津産果物を使ったボディケア商品
  - お酒の化粧品
  - 漆粘土、七宝携帯、漆iPod
- ・若手アーティスト支援

#### コミュニティ系

- ・人と人が触れあう交流パーティ
- ・企業や団体立食パーティ
- ・会津の名産物立食パーティ
- ・会津の伝統料理を作って食べよう
- ・みんなで音を出そう音楽療法
- ・民話、語り部の会
- ・フリーマーケット
- ・会津産野菜市
- ・朝市、夕市
- ・市民団体、若者の音楽活動支援
- ・餅つき大会など季節のイベント

#### ギャラリー系

- ・学生、教職員の研究発表、展示
- ・企業、市民団体の製品展示や活動紹介展示
- ・センターで行われたワークショップや催し物の展示
- ・若手アーティストの展示

### 【提案内容】

以上のような視察を踏まえ、私達は会津若松駅旧貨物ヤード跡地に、「地域活性化センター(仮称)」を提案する。地域活性化センター(仮称)は、起業する人、若きアーティスト、市民団体、NPO団体のオフィス、本学教員や研究を行っている市民への貸し出しラボ、スタジオ、会議室、セミナー室、テナント等インキュベート機能を配し活動拠点の場となるためのソフトを提示する。教員・学生と市民と一緒にワークショップを行ったり、本学の知的財産である社会福祉、食物栄養、産業情報学科分野を公開講座、生涯学習分野等で地域貢献を行っている会場ともなる他、多目的ホール、図書館、ワークショップルーム、スタジオなどコミュニティ機能も兼ね備えた施設とする。

将来的に旧山田プラザ跡地がある扇町方面に、福祉施設、体育施設、コミュニティセンター、生涯学習センター、集合住宅、行政機関が集まるコミュニティタウンを構想する。駅前に建てた地域活性化センターから人が自然と扇町方面へと流れるようにすることで施設レイアウトを行う。この2つの施設が連携し合い、インキュベーションからの観光客、駅前を利用する市民、学生にも足を止めてもらい、にぎわいのあるセンターとして会津若松地域の活性化の起爆剤とする。

### 【センターの主な機能】

#### オフィスショップ

会津若松発ベンチャー企業支援、NPOなどの市民団体の活動拠点として、オフィス、テナント、会議室、ギャラリーを貸し出す。オフィスは大・中・小サイズがあり、会社を設立して間もない人でも少人数から借りられる。共同使用として、会議室、ミーティングルーム、印刷ラウンジ、開発した製品、団体の紹介などにギャラリーを使う事ができる。硬いイメージのオフィスも広場に面し、人が行き交うところに持つことで、市民の関心を集め交流もできるオフィスにしながらも広場が賑わうため、仕事の合間にイベントに足を運ぶなど広場との一体感も感じられる。

#### ラボラボ

本学の教員をはじめ、研究、活動のためにラボを貸し出ししている市民からの相談対応に応じられるミーティングスペースやカウンターとして窓口があるのに対応しやすくなる。施設内他団体とも交流が生まれ、新たな出会いの場となる。

#### ホール

屋根がなだらかな丘となっており、子供たちが元気に遊んでいたりと、寝転がって読書をしたり、磐梯山や電車を眺めたり、ワークショップをしたり、自由に使える丘となっている。ホールは多目的に使用することが可能で、大人数のワークショップ、講演会、公開講座、交流パーティ、コンサートを可。雨や雪の日はここで朝市なども行える。使用していない時は開放しており、丘と同様自由に使うことができるので、ちょっとした体育館にもなり、子供たちの声が生き生きと聞こえてくる。

#### スタジオ&レッスン室

調理スタジオ・音楽スタジオ・製作スタジオ・フォトスタジオの4つのスタジオがあり、調理スタジオは会津の特産品を用いた新商品開発伝統料理教室、駅弁コンペなどの会場として使用できる。音楽スタジオは音響設備が整っており、ストリートミュージシャンがCD製作の際、録音し、フォトスタジオでCDジャケットを作るといったことも可能である。若者のエネルギー溢れる音楽や夢中になっている姿を見て、自分も何かやってみたいと製作スタジオはワークショップでの模型製作時、ものづくりワークショップ、学生の課題製作、日曜大工をしに親子でくるといったことが想定される。

#### ワークショップスタジオ

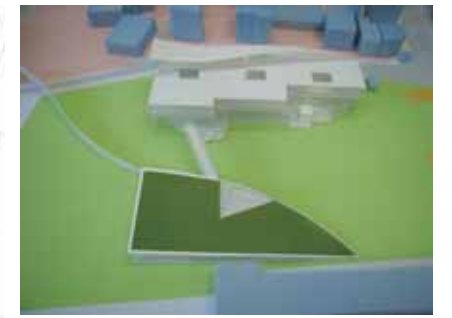
大小2つのワークショップスタジオと、雪見障子が広場から見える和室タイプがある。年齢に関係なく多くの方々に愛用され意見が交換できるワークショップをたくさん行っていき、他にもあちらこちらにテーブルや椅子が置いてあり、どこでもワークショップができるようになっていく。ガラス張りになっているので、授業参観のように通りがかりの人の関心、興味も集められ、どんどん参加してもらおう。

#### ひろば

駅前の人、車の流れ、将来的にできる扇町コミュニティタウン計画を想定し、人が自然に流れる広場にしたい。広場では、会津産野菜市、朝市、夕市、フリーマーケットを開催し、市民はもちろん観光客も自然と立ち寄れる可能性がある。インキュベーションオフィスやワークショップルームが広場に面しているため、広場と一体となりイベントが行える。



施設構成図



計画模型

### 【考察】

会津地域で地域活性に取り組んでいる団体、夢を持っている人々は想像以上に多かったが、商店街組合の会長さんや年配のリーダー的存在の方が多かった。これを機会に活性化センターができて、そういった方々の活動を紹介し、他の市民やこれからの時代を担う若者、本学の学生が今以上に地域に積極的に関わったり、インキュベーションオフィスが成長していく様子が覗けたり、ストリートミュージシャンなど若者が活動し発表する場、本学の知的財産を有効活用する場など毎日人が常に動いているセンターとして会津地域の活性化の起爆剤にしてみたい。